

「ブータン王国の山菜」－野生植物の食用利用とその伝統的知識について－

松島 憲一

信州大学大学院農学研究科機能性食料開発学専攻

1. ブータン王国の農と食

- ・低緯度高標高地域→幅広い生物多様性、階層的な作付け分布
- ・チベット系の遊牧文化とアジア山岳地域にみられる農耕文化（照葉樹林文化）
- ・乳製品、稲、ソバ、山菜、唐辛子などが特徴



写真1. チーズ（ダツィ）



写真2. 蕎麦（ブッタ）



写真3. 醸造用の麴（餅麴）

2. ブータン王国での調査（2005～2010年）

- ・信州大学大学院農学研究科とブータン王国農業省再生可能資源研究評議会の共同研究
- ・2005年より6年間で全20県の農村、市場等において実施
- ・調査対象地域の住民、市場販売員などから聞き取り調査
- ・対象植物の写真撮影・標本作製（標本は同国生物多様性センターに寄託）



写真4. タシガン県ビカール・ゴンバ村で収集した山菜類

3. 調査結果

- 6科 18種のシダ植物の若い葉が食料利用
- 60科 172種の種子植物の葉、花、果実、根などが食用利用
- 苦い山菜類が好まれる
(シダ類、籐の仲間、野生アスパラガス、バシカの花、シュンランの花など)
- 日本との類似性
(ワラビの仲間、ゼンマイ、ドクダミ、セリ、ウワバミソウの仲間など)
- 健康効果が信じられているとともに忌避も信じられている



写真 5. ウワバミソウの仲間(ダンムルー) 写真 6. 籐の仲間(パツツァ) 写真 7. シダ類 (ナケ)



写真 8. 野生アスパラガス(ニカチュ) 写真 9. ドクダミ(ゲチョ) 写真 10. バシカの花 (バシカ・メト)

4. 山菜とGNH

- GNH政策の4本柱(社会的経済的發展、伝統文化維持、自然保護、良き統治)
- 栽培野菜の歴史は浅い→山菜を食べることは伝統的食文化
- 山菜を摘むことは森林整備をすること→自然保護
- 持続的山菜利用はGNH政策と一致